



茶園の集約により効率的な営農を実現

「取組のポイント」

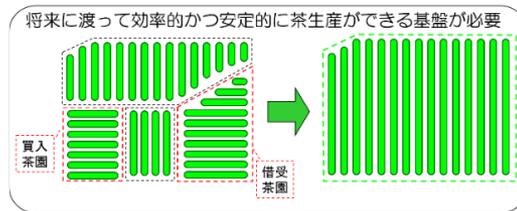
- ✓ 人・農地プランの活動をベースに関係機関が話し合い等をサポート
- ✓ 畝の方向・長さを統一して集積・集約化の支障とならないように工夫



【←勉強会の様子】

地区の概要

周囲に茶園が広がっている地域だが、小区画の園地が入り乱れ、畝方向が不揃いで、ほ場の高低差も大きいことから集積が進まず、担い手の効率的な営農の支障となっていた。



取組の内容

- ① 若手農業者が基盤整備事業の勉強会を重ねて、将来にわたり効率的かつ安定的に茶生産ができる基盤が必要との思いを地域で共有し、市・県も事業説明や地域の話合いのサポートを実施した。
- ② 区画整理実施の機運が高まり、**人・農地プランの活動や農地バンク事業により園地を集積・集約化**することとし、農地耕作条件改善事業等の実施と合わせて、地区内の園地を**農地バンクを通じて担い手4名に集積・集約化**した。
- ③ **地区内の畝の方向・長さを統一して集積・集約化**したことにより、**大型機械導入によるコスト削減が図られ、無農薬栽培や品種の多角化を実現**した。将来的に農業機械の自動化・無人化によるICT、スマート農業への対応も志向。

取組の成果

- ✓ **集積率が 20.4%→75.5%に上昇**
- ✓ 受け手の声「全てのほ場が道路付きとなり、乗用型管理機等の大型機械を効率的に利用でき、**作業効率が3～5倍にアップした**」

バンク活用前



バンク活用後



担い手4名に集積・集約化
うち1haを超える担い手が3名誕生

農地バンク活用面積	借入面積	1.7ha
	転貸面積	1.7ha
	新規集積面積	1.7ha
地区内農地面積	4.9ha	
集積面積・集積率	1.0ha(20.4%)	3.7ha(75.5%)
平均経営面積	0.1ha/経営体	0.9ha/経営体
平均団地面積	0.5ha/団地	0.9ha/団地